

## 主催者挨拶

執行委員長の鶴川です。

今日まで労働組合を支えてくださったOB・OGの皆様、現役の職場役員の皆様、また日頃から組合活動にご理解とご協力をいただいております会社経営層の皆様、そして組合員とそこご家族の皆様、すべての方々のお力添えがあったからこそ、私たちは80周年という節目を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

本80周年のテーマは「<sup>かんどう</sup>感導」です。これは「感謝」と「導く」という二つの言葉を掛け合わせたものです。

私たちが今ここに立ってられるのは、諸先輩方が「労使相互信頼・相互責任」の精神を大切に、数々の難局を乗り越えてこられた歴史があるからです。

その歩みに深く感謝の意を表するとともに、先輩方が道を切り拓いてこられたように、現役の我々もまた未来を導く存在であり続けたい、そして次の世代へ確実に襷を繋いでいきたい、この「感導」には、そうした強い思いと意志が込められています。

現在、自動車産業は大きな転換期を迎えています。競合他社との競争激化に加え、産業の魅力低下、さらには社会全体の課題である労働力不足など、課題は山積しています。

しかし、そのような環境下においても、デンソーグループに集う仲間一人ひとりには、技術の力、技能の力、そして何より「ものづくりへの情熱」という揺るぎない精神が宿っています。

この力がある限り、私たちはどのような時代の変化にも屈せず、グループ全員でより良いものづくりを追求していきけると信じています。



労働組合としても、デンソーグループで働く者として、これからの時代に何が大切なのか、そして何を大切に、取り組んでいくべきなのか、こうした問いに向き合っていく必要があると考えています。

これまでの当たり前を是とせず、皆で考え行動し、明るい未来に向けて「労使相互信頼・相互責任」の精神のもと、愚直に汗をかいていきます。



80年の  
感謝を胸に、  
未来へリード



## 主催者挨拶

デンソー労働組合は2021年にビジョンを策定しました。

その中には「自らの生きる、働くを、2m前に進められる組合員の集団に」という言葉があります。これは、人の平均的な歩幅である1mに留まらず、ストレッチした目標である「2m」に挑戦し続けるという意味を持っています。

組合員一人ひとりが現状に満足することなく明日の2mに向けて努力し、前進を果たしたならば、それを当たり前と思わずに次の2mに向けてさらなる一步を踏み出す、常に今を当たり前とせず2m前へ進むことを意識し、挑戦し続けることこそが、組合員一人ひとりの未来を切り拓き、デンソーの持続的成長と発展に繋がっていく、そう信じて諸活動を力強く推進していきます。

80年の歴史に誇りを持ち、未来への挑戦を胸に多くの仲間の皆様と共に歩み続け、常に感謝の心を忘れず、次の90年、100年に向けて導いていく確固たる意志を持って、次の世代へと襷を繋いでいくことを結びとしてお誓い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

デンソー労働組合 執行委員長 鶴川隆行

自らの生きる、  
働くを、  
2m 前に  
進められる  
組合員の集団に

現状は、波のように変わるもの

ビジョンを心の羅針盤とし、  
ありたいと望む姿(北極星)に  
向かい、考え・行動し近づく

